お出かけ支援アプリ

要件定義書

第1.4版

2022年　1月　22日

システム開発演習B

（指示内容）　今回のプロジェクト課題では、『チームが策定する「要件定義書」について、顧客の役割である授業担当教員が合意している』として進めてかまいません。

1. 背景

これまではコロナ禍の影響で、「遠出の外出」が控えられていたが、ワクチン接種率の向上や感染対策の充実、そして病床確保の見通しが立ったことから、旅行業界として来年度からは事業を展開したい。そこで、「遠出の外出」を支援するアプリケーションの開発を検討している。

1. 課題

現在、明らかになっている課題は次のとおりである。

1. 天候の確認ができずに、悪天候の中の観光になる可能性がある。
2. コロナ禍の収束に伴って、外国人観光客、集団客への対応が必要となっている。
3. 移動中に画面がフリーズしてしまうと、ルート確認の度に画面へ集中することになってしまう。
4. 画面操作が難しいと、移動中に画面へ集中してしまって周囲の危険に気づけない。
5. 目的・方針

２．に挙げる課題を解決しながら，さらにアプリケーションの利便性を図ることを目的として、お出かけを支援するシステム導入する。導入に当たっては、次の方針を掲げるものとする。

1. スムーズな天気の確認を叶にする．
2. おすすめの観光スポットを紹介し,ユーザの観光を充実させる．
3. 他国の言語へ対応し、外国人観光客にも使えるアプリケーションにする。
4. スムーズな待ち合わせを行えるような機能を実装する。
5. スリープを防止し、移動中の画面確認を容易にする。
6. 画面操作を簡単なものにし、移動中の画面への集中を防止する。
7. 概要

本アプリは、「出発地・経由地・到着地」の天候の確認、天候に合わせたおすすめの観光スポットの表示、予想気温に合わせたおすすめのお店の紹介、言語の切り替え、ユーザの現在地と現在地周辺の目立つ建物の送信、待ち合わせ時間前の通知、手持ち中のスリープ防止機能を提供する。また、移動中の操作を前提とし、画面操作は簡単なものにする。

５．用語の定義

1. ユーザ

お出かけ支援アプリの利用者、主に旅行を行う人

６．機能

本システムの機能は大きく次の6つの機能に分類できる。各機能の名称と働きを以下に示す。

6.1 言語切り替え機能

　スマホの言語設定に応じて、アプリ上の言語を切り替える。

6.2 天候表示機能

天気ボタンを押すことで、OpenWeather APIを使い「出発地・経由地・到着地」の天候を表示する。

6.3 観光スポット紹介機能

観光ボタンを押すことで、天気に合わせた目的地のおすすめの観光スポットを表示する。

6.4 アラーム機能

　アラームボタンを押すことで、アラーム画面を起動し、設定した時間に通知を行う。

6.5 メール機能

　メールボタンを押すことで，メールアプリを起動し、アプリ上で入力した、テキストをメールアプリに代入する。

6.6 画面スリープ防止機能

アプリ起動中のスリープを防止する。

７．　システム化の範囲

本システムでは、ユーザの個人情報の取扱いは、本システムの範囲とせず、ユーザが自分の意図に基づいてプロフィールとして入力することとする。

　また、今回のシステムは、国内のみの利用を考慮して1000名まで扱えるとともに、同時接続数は200を保証するものとする。

８．　導入・移行計画

1. 2022年1月23日をもって、アプリケーションを導入する。

９．　運用・保守

1. 通常時の運用は、定期バックアップなどを含め、運用会社に委託する。
2. 故障発生時は運用会社から保守会社に連絡して対応する。
3. アプリケーションの運用スケジュールは次のとおりとする

　月　　　全日　　　　：システム停止

　火〜日　全日　　　　：運用

１０．　工程計画

仕様凍結 ：　2022年1月10日

設計完了 ；　2022年1月12日

開発完了 ：　2022年1月19日

試験完了 ：　2022年1月21日

導入 ：　2022年1月23日

１１．　体制

1. システム部門は、システムに対して導入まで責任を持って対応する
2. 運用部門は、運用保守に対して責任を持ち、顧客対応およびオンサイト保守を実施する

１２．　成果物

1. 要件定義書
2. 外部設計書
3. 内部設計書
4. 試験成績書（授業中に動作確認予定）
5. 製造プログラムファイルー式
6. マニュアル（運用、保守、操作）（今回は不要）

以上